

令和7年度第1回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会 議事録

日時：令和7年6月9日（月） 午前10時から午前11時15分まで

場所：おおぶ文化交流の杜図書館 サポーター室2

＜出席委員＞ 6名（敬称略）

松岡 礼子（至学館大学准教授）委員長

加古 有子（名古屋学芸大学教授）副委員長

鈴木 善博（人間環境大学講師）

神田 由美（図書館サポーターズクラブ）

竹内 紀人（知多メディアスネットワーク株式会社）

三品 翔（PTA連絡協議会）

【欠席】赤堀 路世（大府市国際交流協会）

＜事務局＞

市民協働部長

文化交流課長、文化振興係長、文化振興係主査、主事

おおぶ文化交流の杜図書館長、おおぶ文化交流の杜図書館マネージャー

1 委員・事務局自己紹介

2 委員長あいさつ

3 施設概要説明

4 議題

（1）令和6年度第4四半期事業実施報告について

※資料1～5に基づき館長説明

- ①令和6年度第4四半期施設利用状況
- ②令和6年度第4四半期蔵書貸出統計
- ③令和6年度末までの地区別登録者数、貸出者数
- ④令和6年度第4四半期事業実施報告
- ⑤発生した事故・ご意見

【意見交換】

（委員）10代の利用者数が少ないのは毎年の傾向か。

（館長）そのとおり。特に中学生以降の利用が少ない。

（委員）保護者が代わりに借りている場合も多いため、実際の利用者が明確にわかる

仕組みが必要ではないか。

マンガの購入抑制の理由は何か。

(館長) 旧館からの方針。近年の日本アニメの世界的評価を踏まえ、方針見直しを検討中。

(委員) マンガは読書の入り口としても効果的。多様な文化を紹介する棚構成で知的好奇心を刺激できる。

(委員) 市民のリクエストは反映されるのか。

(館長) マンガ以外であれば受付中。

(委員) マンガも文化理解の一助。将来の評価も見据えて検討してほしい。

電子書籍利用が増えたが、真の利用傾向は2年後に見える。紙と電子の相乗効果を図れると良い。

(委員) 施設概要で他市町との比較データがあるとより興味深い。

(館長) 検討する。

(委員) スタッフの労働環境の改善にも注目している。スタッフが正しい利用者のために時間やアイデアを駆使できるよう公共施設として、カスタマーハラスメントへの対策やスタッフ保護が重要。

(館長) 現在、業務改善を進めている。問題のある利用者については、大府市様と情報共有をして、毅然とした態度で対応している。

(2) 令和7年度事業計画について

※資料6に基づき館長説明

【意見交換】

(委員) 若者の本離れを踏まえると、利用者増は容易ではない。他館との比較や満足度調査など新たな指標が必要。

(館長) イベントごとのアンケートに加え、地域事業計画としても利用者アンケートを年2回実施。基準値は毎回達成しているが、来館者数に関しては高い目標を掲げ、改善策を講じたい。

(委員) アンケート結果を委員会資料に添付可能か。

(館長) 検討する。

(委員) 利用者のニーズは変化しており、単なる人数ではなく「快適な空間づくり」が重要。

【次回開催連絡】

令和7年度第2回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会

日程：令和7年10月27日(月)開催予定

場所：ぎふメディアコスモス岐阜市立中央図書館